

屋也、説文無蓬字、庫中伏舍、一曰屋庫、皆蓬庫不連文、又不訓船上屋、此所引恐誤、

〔類聚名義抄〕蓬フナヤカタ 〔同三〕艦ヤカタ 艦フナヤ、フナヤカタ 〔同七〕蓬庫フナヤカタ

〔伊呂波字類抄〕蓬庫フナヤカタ 廬同

〔倭訓栞〕中編二十二 ふなやかた 和名抄に、蓬庫をよめり、初學記に、舟上屋也といへり、是はとま

やかたなるべし、釋名に、舟上屋謂之廬とも見えたり、

〔和漢船用集〕十廬ヤカ 屋形同釋名云、舟上屋謂之廬、言象廬舍也、字彙曰、舟上の屋を廬と云、重屋

を飛廬と云、又其上に在を雀室と云、言は中候望こと雀之驚視がごとしと見へたり、漢には五層

樓、本邦三重の者、廬は下屋形、飛廬は上屋形、雀室は日覆屋形也、平家物語に、三ツ棟作りたる舟と

いへるは、今川舟の將几、上段次之間の三棟なるべし、舳は總屋ぐら也、舳屋、船廳、並にふなやかた

と讀せり、貫之土佐日記にも、ふなやかたといへり、屋形の小名、土臺柱、臺輪桁、梁、矢倉、根太、同板、耳

板、高欄、鋪居、鴨居、中鋪居、寄鋪居、方立、長押、組天井、床、違棚、刀箱、蹴込、襖障子、數子戸、遣戸等也、

川御座船は、椽葺やねにて、右之外に所名多し、棟、檼、萱負、裏側箱棟、破風、品板、鬼板、掛魚、鷹羽、唐破風

作、むくり破風、勾這やね等有り、昔は海御座船にも此制有、川舟屋形間の名、將几、上段次之間、舳樓

也、屋形の左右、取置の柱を立やねを付る、是を旅やねと云、旅雨戸とも云、表水押へ出るを出しや

ねと云、此下に有座を小將几と云、船頭の居處也、舳矢倉の外へ出すを見送りと云、舳の出しやね

也、上に有屋を太鼓矢倉といふ、

〔和漢船用集〕十小屋形 下屋形と云の義、此處帆棚にて、下落間にする所、則屋形とす、臺處屋

形也、後倉、艙後、並にとももの間と讀せり、

〔萬葉集〕十六 有由緣雜歌、怕物歌

奧國領君之染屋形、黃染乃屋形、神之門渡、